

し尿処理場いよいよ着工

来年12月から操業開始

私たちの日常生活のなかで、もっとも切実な問題としてとり上げられているのが「し尿処理」の問題です。

大館市の場合、相次ぐ3度の大火から市街地は、東北では珍しいくらいの近代美をほこる都市に生れかわりましたが、青森岩手、秋田3県の交通経済の要衝として、また、国立公園十和田八幡平の玄関口として発展途上にあるなかで、近代衛生都市に脱皮するため、この「し尿処理」の問題はもっとも深刻なものになってきています。

最近では、農業の近代化による化学肥料の普及から、いままでのように農家に対する肥料の還元はほとんどなくなり、その処理に困って止むを得ず山間地に埋めて処理している現状です。

この処理方法は、衛生的にも数多くの問題点があり、また、附近の住民からも強く反対されております。国でも、この問題を国の重要施策としてとりあげ、強力に設置方を要請しておりましたところ7月の市議会定例会で大館市でも建設することがきめられ、2か年の継続事業として10月1日から三菱日本重工業（東京都）の手で工事が進められております。

◇建設場所 沼館

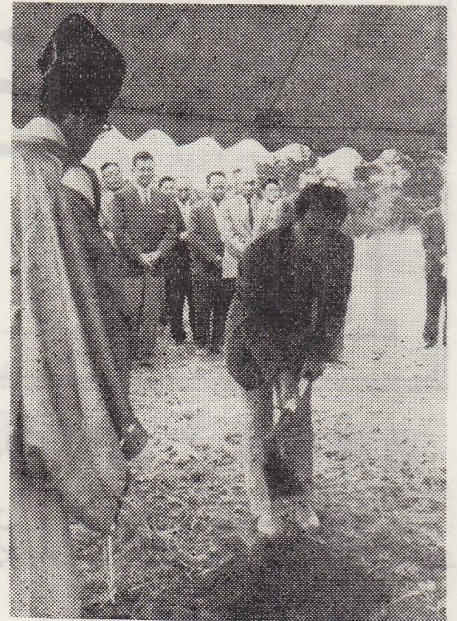
◇事業費 6,955万円（うち、補助対象事業費に対して3分の1国庫補助）

◇完成 昭和39年10月31日

（11月中試運転、12月から本格操業）

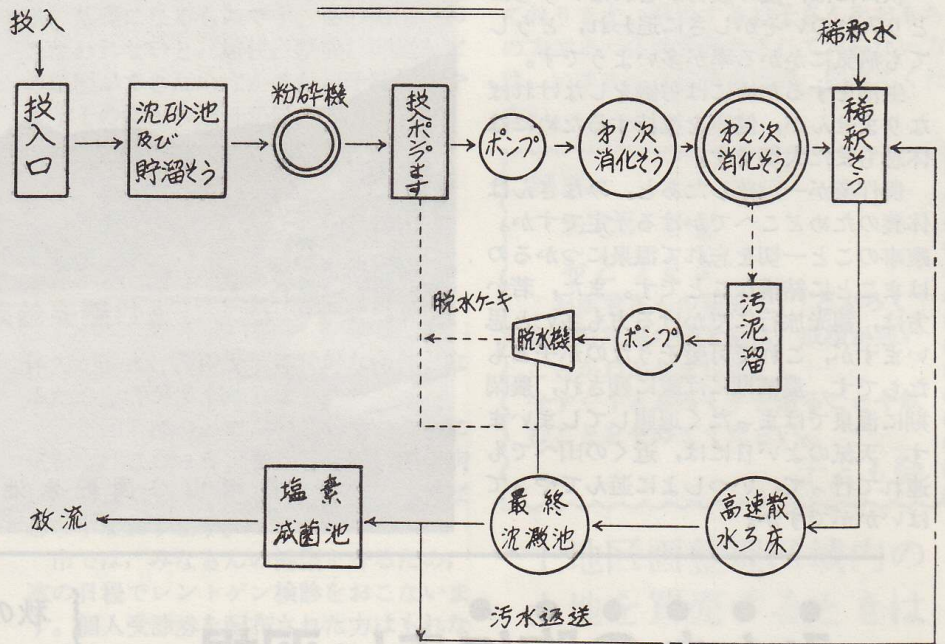
処理方法は、嫌気性加温式二段消化法とよばれるもので、1日50キロリットル（5万人分）のし尿が衛生的に完全無害になるまで処理され、従来の汚物の始末という観念とはまったくかけはなれた衛生工場ともいふべき近代的衛生的な施設であります。

許可業者の汲取車によって運ばれた生し尿は、投入口から沈砂池を通して細かくきざまれてから消化そうに送られます。消化そうで約30日間、嫌気性菌によって発酵させ、ガスと上澄みと汚泥とに分け上澄みは約20倍にうすめて散水ろ床に流します。この間、好気性菌の生物化学作用によって浄化されたものを最終沈澱池に送り、含有物を沈澱させて塩素滅菌をし、長木川に放流します。



9月16日おこなわれた起工式で「くわ入れ」をする市長

処理方法



20日は

みんなで大そうじ

この日に、全市一斉の「秋の大そうじ」をおこないます。

みんなで周囲をきれいにし、清潔で、明るく住みよい町にしましょう

今月の納税

市県民税 3期

- ◇納期限内に、令書で窓口へ納められた方には、記念品をさしあげております。
- ◇10月から、督促手数料が5円高くなり20円になりました。
- ◇延滞金（日歩3銭）と延滞加算金（日歩3銭）が統合され、延滞金となり、日歩4銭徴収することになりました。
- ◇税金を楽に納めるためには、納税貯蓄組合に加入することをおすすめいたします。加入を希望される方は、出張所または市役所収入役室へご連絡願います。

オリンピック前年祭

◇ 24日夜 市民体育館 ◇ 入場無料

来年秋日本でおこなわれる「世紀の祭典」オリンピックに対して、開催地の国民として正しい理解を深めるとともに、これを機会に、国土を美しくする運動を強力におし進めるため、新生活運動協議会、その他の関係団体の主催により、オリンピック聖火リレーのコースを縦走する自動車パレードとそれぞれの関係市町村において、「オリンピック前年祭」を開催いたします。

24日市民体育館でおこなわれる大館市会場では式典のほか自衛隊によるプラスバンド演奏と、スポーツ映画などのアトラクションがあります。入場は無料ですから、隣近所おさそい合せのうえおでかけください。